



・ 特集：フィリピンの人たちの自立を支援する



ゴミ拾いで生計を立てる住民に技能訓練をする、パヤタスの職業訓練支援

パヤタスでの支援活動の現状と今後	p.2-3
参加型調査法の研修	ヴィーナ カルダマ
研修に参加して	マリテス カンガオ
現地ボランティアさんの活動紹介	p.4-5
職業訓練	佐藤 未希
サバイ タヨ (教育プログラム)	園原 ゆりえ
フェアトレードの協力者をご紹介	p.6
フェアトレード賛助会員募集!	p.7
ミンダナオでの給食支援	松岡 亜湖 p.8
データ集計進捗状況	吉澤 和子 p.9

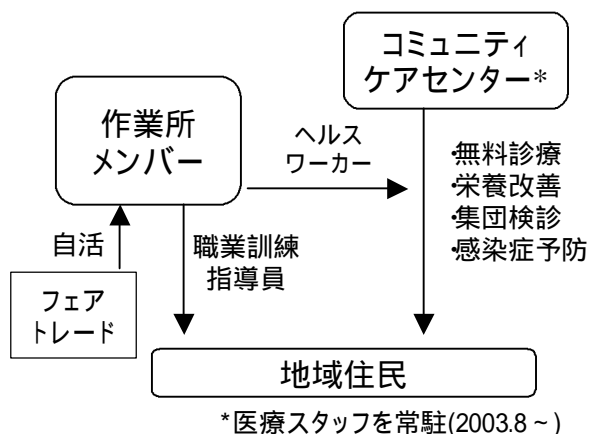
事務局に参加して	塩見 航	p.10
クリスマス募金のお知らせ		p.10
カードキャンペーン		p.11
夏のカードキャンペーン報告		
HAPPY NEW YEARカードキャンペーン		
協力者のご紹介		p.11
会員になってICANを支えよう!		p.12
新規会員、会員継続者のご紹介		p.12

ICAN (アイキャン) 特定非営利活動法人アジア日本相互交流センター

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-20-11 NPOプラザなごや2F
TEL&FAX (052)582-2244 E-mail:info@ican.or.jp ホームページ: <http://www.ican.or.jp/>

パヤタスでの支援活動の現状と今後

マニラ首都圏ケソン市郊外にあるパヤタスゴミ処分場では、2000人以上の住民がごみ拾いで生計を立てています。私たちは2000年から生活をごみ拾いに依存する家庭の女性を対象に、ぬいぐるみやハンディクラフトなどの製作技術を身につける職業訓練を行ってきました。訓練を終えた女性達は作業所を作り、自主運営を進めています。また、身に付けた技術を他の住民に伝える職業訓練にも講師として携わっています。女性達は、コミュニティヘルスワーカー(CHW)のトレーニングなどにも積極的に参加しており、地域住民への医療支援でも重要な役割を担おうとしています。



2003年5月には地域組織化の研修をダバオで行い、ヴィーナさん(作業所前代表、現副代表)が、スタッフの伊藤、テス等とともに参加しました。ヴィーナさんとテスの研修報告と今後に向けた意気込みをご紹介します。

参加型調査法の研修

ヴィーナ・カルダマ

地域の組織化のための参加型調査法(CO-PAR)は、組織化をするときに使われる非常に深い方法です。参加型調査法にはいろいろな側面があります。

一つ目は、ネットワークです。団体のプログラムがよりよくなるように、いろいろな組織や団体とのネットワークが重要です。

二つ目はトレーニングです。トレーニングは人の能力を向上させることができるので大変役立ちます。パヤタスでは非常にトレーニングが必要とされていると思います。

そして、組織を立ち上げるためには自信と忍耐と決意が必要だと思えます。地域の組織化とは参加者が集まり意思決定をすることです。住民が一致団結しなければなりません。住民の必要を満たすために、彼らの問題は何であるのか、どのようなプログラムが必要とされているのか調査します。参加者は一致団結する必要があります。

また、プログラムなどが正しい方向に向かっているかどうかを知る知識を増やすためにトレーニングを行います。

私は、この参加型調査法のトレーニングで学んだことを他のメンバーにシェアしたいと思っています。プログラムを作ることについて、他団体とのネットワークについて、プログラム実施のための団体の意思決定について教えたいと思います。

社会がもっとよくなるようにたくさんのプログラムが私たちの国では実施されています。



しかしながら、多くのプログラムは長く続きません。理由は、参加者たちが自信を失ったり、団結を失ったりするためです。参加型調査法を通し、パヤタスの住民が自信を持って団結しプログラムを行えるようになることが今必要とされています。

研修に参加して

マリテス・カンガオ (Tez)

私が以前働いていた団体では、地域住民を利する目的の活動に、住民が確実に参加するよう、地域組織化という手法を用いていました。この手法を利用すると、問題を認識するだけでなく、その解決策を見つけ出そうとする課程においても、地域住民の能力が高まります。

ダバオでの研修から、そうした手法が有効であるとの認識が強まりました。そのうえ、パヤタスとともに活動した地域住民との関わり方を、より深く理解できました。CO-PARは、問題の理解を深めるために地域住民が研究に参加するという比較的新しい取り組みです。この研修により、真の能力開発とは、住民を理解し、住民と同じように‘暮らす’のみならず、暮らしに変化を起こす住民独自のやり方を認識することである、との思いも深まりました。その変化に個人的にかかわっているとき、住民の考え方を認めることの重要性は論を待ちません。これは、参加型研究から学んだ経験です。

今回の研修で得た教訓は、“比較的裕福な”人は、“比較的貧しい”人の夢をかなえるための手段を提供するだけでなく、彼らを自分たちと同じ人間だと認め、彼らが自分たちのやり方で何ごとかを成し遂げたいと思っていること認識する必要がある、ということでした。そのような認識があるからこそ、住民のみなさんが、他人の手を借りたとしても自分たちの力で困難を解決したという尊厳の意識を持てるのです。自尊心をもたらすそうした解決策は、比較的貧しい人々にとって、最大の成果となりうるでしょう。

パヤタスの人々が物質的に貧しいのは明らかですが、彼らは不足を感じていません。しかし、住民の夢が叶うように支援し、彼らが自尊心を持ち続けられるように力添えすることは、金で買える物よりも、はるかにずっと価値のある贈り物になるでしょう。



このような理解にたった、パヤタスの人々の支援計画が、真の助け合いの精神にかなっていることを願います。パヤタスの人々に夢を実現する手段を提供し、物質的な豊かさだけでなく、尊厳と自尊心を持って、精神・社会的な健康と幸福をも育めるよう、ICANのメンバーおよびスタッフ一人一人が支援を行っていただけるよう、心から願っています。どんなに些細でも、住民に意見や考えを自由に話してもらうこと、またその行為を尊重することは、真の能力開発の手段である、と私は考えています。

実のところ、住民自身にしか、住民の能力開発はできないのです。私たちにできるのは、住民に能力開発の手段を提供することだけです。その手段には、尊厳と自尊心の保障も含まれます。彼らの考えがどんなに些細なものに思えようと、それを心から尊重できた場合にのみ、能力は開発できるのです。

現地ボランティアさんの活動紹介

2003年5月より、佐藤さんと園原さんが、現地インターンとしてパヤタスの活動に加わりました。パヤタスで真摯な態度で活動する二人の姿勢は、スタッフや住民の皆さんにもよい影響を与えています。佐藤さんからの職業訓練の報告と、園原さんからの子ども教育プログラム『サバイタヨ』（日本語で「みんな一緒」の意味）の報告をご紹介します。

職業訓練

佐藤 未希

今年の5月からマニラ事務所でボランティアをさせて頂いております佐藤です。こちらで大勢の人の協力により様々な経験をさせて頂き充実した日々を送り、本当に感謝しております。

パヤタスでは、一般住民の副収入につながる技術を普及するために、様々な職業訓練を行っています。技術を得たい人は誰でも参加しやすいように、1日の訓練でお米1キロを支給しています。仕事を休んで訓練に参加しても、その日食べるものがなくならないようとの配慮からです。

通常は作業所のメンバーが講師となりますが、5月、6月は新しいアイデアを提供するために、私達ボランティアも講師を務めました。

こちらに来て間もない頃、職業訓練の講師をしないかとの話があり、私は正直、職業訓練がどういうものなのかよく理解していない、言葉もわからない状態で、講師などというたいそうなものが務まるのか??などとかなり躊躇しました。でも、一緒に来たボランティアの園原さんが「やります」と潔く答えたので私もそれに続きました。合計4回の職業訓練をやらせていただきました。

初の職業訓練の日の朝、パヤタスの作業所に行ってびっくり！入り口の狭い所で20名程も座って待っていました。そんなに大勢の人が参加してくれると思っていなかったの、私はかなりおろおろしてしまいました。慌てて、作業所のメンバーの最年少のレイナリンさん(高校生です)に作り方を教えて、レイナリンさんからも参加者に指導してもらいました。

参加者で作り方を間違えている人や、よく分かっていない人には、私達もジェスチャーや片言のタガログ語に、英語を交えて必死で説明しました。



職業訓練の講師を務める佐藤さん

2回目は、1回目よりぐっと人数が減り、8名でした。その日はみんなで円になって座りじっくりと教えることが出来ました。

3回目のビーズのプレスレット講習は、また参加者が増えて26名も来てくれました。その日は非常に暑い日で、更に人が大勢いてICANの作業所はサウナ状態でした。椅子やテーブルも足りずに立ったまま参加する人もいたほどです。そんな中みなさんよく私達の話聞いてくれました。言葉ではうまく説明できないので図に描いてそれを見ながら作ってもらいました。

4回目の講習では、テグスが4本のものに挑戦しましたが、非常に難しかったらしく、みんなかなり苦労していました。(実際に私もサンプルを作る時かなり苦労しました)

訓練では、全ての回を通して、作業所のお母さん達やその子どもたちも手伝って教えてくれました。4回目の訓練に参加されたある方に、3回目の訓練で作ったプレスレットをプレゼントしました。その作品は、作業所のお母さんに頼んで再度製作してもらい、商品化されています。

全体を通して、職業訓練の参加者は、高校生くらいの若い子が多かったです。それが本当に、最初に私たちがパヤタスの人々と直接的に関わったことでした。おかげで知り合いもできて、その後もパヤタスで会うと挨拶をしてくれます。でも、あの時の私はかなり消極的だったので、皆の名前もちゃんと聞いておらず、「惜しいことをしたなあ」と思っています。

私達がおこなった訓練が、すぐに彼らの生活向上につながるとは考えにくいのですが、これがきっかけでパヤタス内で横のつながりができたり、このようにゴミ拾い以外の方法でお金を得られるということを知ってもらったりすることで、みんなの世界が広がれば、と思っています。

サバイ・タヨ(教育プログラム)

園原ゆりえ



みなさん、初めまして。園原ゆりえです。

サバイタヨ。私はこの活動から本当に多くのことを学びました。計画することの難しさ、子ども達を相手にすることの難しさ、言語、子どもの心の変化などです。

7月から、私はサバイタヨの責任者として活動しました。毎回、子どもが楽しみ、且つ、何かしらの意味を含める活動を計画しました。

子ども達は、ほとんどのゲームは大好きです。特に対戦をするゲームとなると、子ども達は白熱します。アクションゲームをした時も、上手に体を使って表現をしていました。子ども達が最も静かになるサバイタヨの時間はお絵描きの時間です。先ほどまで騒いでいた子どもも絵を描き出すとそれに集中し、辺りは本当に静かになります。

サバイタヨに参加している子どもの中には歌を歌うことが大好きな子どもが多く存在します。そこからヒントを得、私は9月13日にコンサートをすることを計画しました。そのコンサートの目標は、1)コンサートを通じて子ども達に達成感を味わってもらう、2)仲間と一緒に一つのものを作り上げる、という2つにしました。

コンサートまでに、子どもたちは週に3回以上集合し、練習をおこないました。私はその練習に参加していましたが、子どもたちはただ自分のしたいことをし、なかなか練習が進みません。それでも、子ども達は練習が大好きで(子ども同士で集合しているのが好きと言った方が良いかもしれませんが)、練習が終わると、必ず子ども達は「アテヨリ(ヨリお姉さん) 今度はいつ来るの」と必ず聞いてきました。

週に3回以上もパヤタスに通って練習を続ける中で、私がしていることは本当に子どもたちにとって意味のあることなのかと、日々を過ごしたこともあります。私が何度も子どもたちに練習をしようと声を掛けても、反応がない時が多々あったので子ども達は本当にコンサートをしたいのかと疑問を持っていた時もありました。その時期は私にとって少し辛い時期でした。

しかし、その辛い時期の中でも、数人のやる気のある子どもの姿を見ると自然に笑みがこぼれるほど嬉しくてたまらなくなりました。本番の2日程前から、子ども達は真剣に練習を繰り返していました。本番は私が思うに、今までで一番良い出来であったと思います。今までの練習の成果がしっかりと現れたのではないかと思います。また当初の目標であった、子ども達が達成感、そして仲間と一緒に一つのものを作り上げた喜びを肌で感じれたことだろうと思います。

私は9月19日に日本に帰国しますが、パヤタスの子どもに本当の優しさや、本当の子どものらしさ等を教えてもらったような気がします。彼らの笑顔は本当に素敵です。私もいつまでたっても、彼らのような笑顔で笑えるような人でありたいです。4ヶ月半という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。



フェアトレード協力者のご紹介

パヤタスの自立を支援するフェアトレード活動は、多くのボランティアや団体 学校に支えられています。暖かいご支援をくださる皆さんに、心より感謝申し上げます！



くまちゃん
を買って
にっこり！

販売を通してお母さん達のお手伝いできてうれしいです。「私もできる」・「あなたもできる」そんな実感がわきました。またお手伝いさせてくださいね。
(しろこフェスティバル参加の村木由美さん)



ECO&MUSICブース出店
(楠瀬さんと大森さん)

「フェアトレード」という方法でフィリピンの人々の自立を助けることができ、とても充実しました。本当によかったと思います。
(三陽高等学校3年大坪祐馬さん)



おかげさまで文化祭では大繁盛でした！売り切れるのがはやすぎたので、来年はもっと仕入れる予定です^^
(長生高校JRC部 加藤静香さん)

東邦高校のパネル展示と販売風景

2003年に販売協力をいただいた学校・団体

ふれんどしっぷあじあ、足利東ロータリー、名古屋西高校、宝泉寺、ぶなの家、岡崎北高校、「神の子たち」上映実行委員会(西村さん)、(特)静岡青年団、光ヶ丘高校、向陽高校、長生高校、三陽高校、東邦高校、(特)アユス仏教国際協力ネットワーク、(特)穂の国ネットワーク

2003年に出品したバザー

あいち国際フェスタ、連合メーカーフェスティバル、ECO&MUSIC、しろこ祭り、SOZOフェスティバル

2003年9月以降に出品予定のバザー

地球市民フェスタ、AHIオープンハウス、椋山大学祭、国際交流フェスティバル、金城大学祭、日本福祉大学祭、高蔵寺教会バザー、(株)東海理化イベント

フェアトレード協力団体の募集！

パヤタスの女性たちが製作するフェアトレード製品を、文化祭やイベントで販売してみませんか？現地の女性たちの製作品の販売を通して自立支援に貢献すると同時に、パヤタスの状況についてお客さんに説明することで、国際協力活動についての理解も深まります。ご協力下さい！

フェアトレード賛助会員募集中！

職業訓練を終え、自立のためにフェアトレード事業をはじめたパヤタスの女性たちの支援をしてくださる賛助会員を募集しています。

フェアトレード事業とは？

フェアトレードとは、貧しい人々の経済的な自立をはかる為、クラフト製品や特産物を適正な値段で買取り、販売する事業です。



商品の一例（あみぐるみの財布）

フェアトレード賛助会員になると・・・

年4回、フェアトレード商品のギフトセットが届きます。

会員期間中は、フェアトレード商品を会員割引(1割引)でご購入頂けます。

商品とともに、製作状況をつたえる写真や製作者からのメッセージをお届けします。

その他、会報、各種イベント・ボランティア情報をお届けします。

賛助会員へのご案内

フェアトレード賛助会員には、以下のようなコースがあります。

Aコース 年間 5,000円

Bコース 年間 10,000円

Cコース 年間 20,000円

会費振込先

<郵便振替口座>

加入者名：ICAN フェアトレード
口座番号：00830-3-78231

ご協力、お願い致します！

ホームページ上からも簡単にお買い物ができます。

フェアトレードSHOPアイキャン ホームページアドレス：

<http://www.ican.or.jp/fairtrade/>



ミンダナオでの給食支援

松岡 亜湖

ICANが2000年より給食支援をしているバウイング小学校は、イスラム教徒とキリスト教徒が混在している学校です。バジャウ族やブラアン族などの少数民族の子ども達も多く通っています。

バラングイ(村という意味)・バウイングは小さな漁村で、住民の多くは漁業や農業に従事しています。ジェネラルサントスの南東に位置しています。多くの家はニパと呼ばれるやしの葉と竹でできています。



バジャウ族の村



バジャウの子ども達

農業や漁業の収入は不安定で、魚が捕れない時は、1ヶ月間ほとんど収入がない場合もあります。そういう時は、町へ出て物乞いをして、どうにか食いつないでいます。フィリピンでは学校給食はなく、子ども達は学校へ弁当を持っています。弁当を持たせることのできない家庭の子どもにとって、週に一回の給食は、大きな助けとなっています。

給食支援校では、6月～7月が栄養調査月間となります。バウイング小学校でも、給食支援対象候補の子ども達の栄養調査をさっそくおこないました。結果、325人の子ども達の栄養状態がよくないとのことで、日本に報告が送られてきました。

日本の事務局では、このうち栄養状態が特に悪い子ども(栄養失調度中・重度)の数は、113人であることを確認、2003年10月末までは100人、11月～2004年3月までは120人の子どもを対象に、今年も給食支援を継続することを決定しました。



給食を食べる子ども達

給食の実施時期を安定させると同時に、子ども達の栄養状態をよりの確に把握するため、今年から給食の実施時期を前期(6月～10月)、後期(11月～翌3月)に分けることになりました。校長先生が交代したときなどの引継ぎもスムーズになるよう伝達を徹底、子ども達への給食支援のいっそうの充実をはかりたいと思います。

現地からは、年に3回ほど子どもの栄養状態が報告されます。事務局では、子ども達の栄養状態をよりの確に把握し、いっそう効果的に支援を行うために、現地の校長先生の報告を元に、子どもの年齢と体重を集計し、フィリピンの保健省の評価表を使って栄養状態を評価します。

四半期	学年	誕生年月日	年齢	体重	栄養状態(体重)
4	4	1992/9/1	10,3/4	22	Moderate(中度)
4	3	1994/4/29	9	21	Average(普通)

これらの評価には、吉澤さん(栄養士)、石川さん、細川さん、吉浦さんなどのボランティアのご協力が欠かせません。吉澤さんの報告をご紹介します。

データ集計進捗状況 吉澤 和子

給食プログラムでは現地からの報告をもとに子どもたちの栄養状態についてデータを集計し、評価しています。その現状を報告したいと思います。

このプログラムの目的は、貧しい地域にある5つの小学校における児童の栄養不良の改善です。評価の手法は、児童の身長及び体重の計測値を同じ年齢にあたる基準値と比較するというものです。計測は小学校の教師が行います。基準値にはフィリピンの保健省のものを使用しています。男女別の比較の結果、栄養不良のレベルを平均、重度、中程度及び軽度に分類し、重度にある児童が給食プログラムに参加します。もとのデータは現場から日本へ送られてきますが、名古屋のICAN事務局でデータの集計などを行います。

現在の進捗状況としては、2003年度の計測されたデータが現場から送られてきましたが、これを基にデータベース化に向けて試行錯誤を行っているところです。データベース化は、長期的に作業効率性を高めることを目指しています。

問題点についてですが、第一に、データに含まれる誤差があります。まずコントロールしなければならぬ大きな誤差としては、現場での測定誤差があげられます。これについて改善は可能です。方法としては、現場の協力を得てより正確な計測を行うことができるようにすることです。この為には現場での再教育も大切ですが、フィードバックが大切です。日本で取りまとめたデータや解析結果を還元することにより、質の高い参加への動機付けが得られると期待できます。

第二に、測定の誤差が少なくなっても、給食プログラムに参加した児童の体位が向上したかどうかを評価することが難しい場合があります。何故なら、児童の栄養状態を決定する要因にはいろいろあるからです。その為には更に多くのデータが必要になってきますが、長期的な計画が必要です。

給食プログラムのデータの集計にはもう少し時間がかかりますが、近い内に結果を報告したいと思います。

これからも給食プログラムをよろしくお願いいたします。

事務局に参加して 塩見 航

名古屋大学法学部のインターンシップ・プログラムをきっかけに、アイキャンの活動に参加した塩見です。この夏、サマーセミナー 高齢者就業センターの面接会 豊川市での「神の子たち」の上映会に、アイキャンの一員として参加させていただきました。

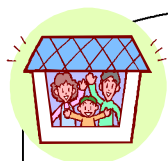
どの活動においても、アイキャンにとって広報活動としてのいい機会となったと思います。各活動の一般の参加者の話を聞いてみると、フィリピンの人々のこと、アイキャンの活動のことを初めて知る人も多くいました。しかしながら、それらのことに決して興味がなかったというわけではなく、皆さんにまだまだ情報が届いていないという風に見えました。これからも、これらのイベント活動を通して、フィリピンのこと、アイキャンのことをもっと深く理解していただけるように努める必要性を強く感じました。

今季の活動では、上映会での映画やサマーセミナーでのパヤタスの人々の生活のロールプレイングなど、様々な方法でフィリピンやアイキャンへの理解を深めていただけたと思います。特にサマーセミナーでのロールプレイングでは、体で実際に体験しながら学びとるという新鮮な刺激を受け、僕自身も得るものがありました。もちろん参加してくださった高校生の子達も同じものを感じ取ってもらえたことでしょう。

しかし、肝心なのは学びとった後だと思います。人間は覚えたものをすぐに忘れてしまう動物です。知識を得るすばらしい機会にめぐり合ったとしても、日常に帰ってしまうと学んだことを忘れてしまいがちです。ここで学んだ知識を忘れてしまうのか、行動に活かすのか、それとも誰かに伝えるのかは、皆さんの意識とアイキャンの人々の温かい呼びかけ次第だと思えます。



豊川市の神の子上映会ブースでの販売



クリスマス募金のお知らせ



日頃はICANの活動にご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございます。

さて、フィリピンでは子どもも大人も、とても楽しみにしているクリスマスの季節が近づいてきました。今年も、日本の皆さんにクリスマス募金へのご協力をお願いいたします。一家で寄り添いあってささやかにとクリスマスを迎えようとしているフィリピンの人達に、優しさと愛情を分けていただけませんか？ 皆さん一人一人のお力添えがフィリピンの人達を励まします！

ご送金いただける方は、以下の振替口座まで、お願いします。
郵便振替口座 NPO法人 ICAN 口座番号 00850-6-78233
通信欄に、クリスマス&年末募金とご記入ください。

皆様の暖かいご支援を、心よりお待ち申し上げます。

<Summer Greeting Card キャンペーンご報告>

給食プロジェクトの対象校、P.Kindat小学校、Bawing 小学校と Sarif Mucsin小学校、Upper Tambler小学校、Dadiangas East 小学校の子ども達をSummer Greeting カードで励ますカードキャンペーンをおこないました。子ども達への大きな励ましになりました。心より感謝申し上げます。

【ご協力いただいた皆様】

対馬さん、太平さん、久保さん、小倉さん、神谷さん、塚本さん、足立さん、和田さん、藤田さん、伊藤さん、小松さん、大森さん、東條さん、楠瀬さん

【集まったカンパ】 4,715 円

ご協力ありがとうございました



Maricelさんからの返信です

<ミンダナオの子ども達に笑顔を送ろう！Happy New Year Card を送ろう！>

給食プロジェクトの対象校、Bawing 小学校、Sarif Mucsin小学校、P.Kindat小学校、Upper Tambler小学校、Dadiangas East 小学校の子ども達を、HAPPY NEW YEAR カードで励ますカードキャンペーンを行います。

**彼らへの励ましのカード作り、カード集めに
ご協力頂けませんか！？**

カードの形式

(宛 先) Dear Friendにして下さい。

(差出人) 名前だけ英語で記述し、住所は書かないでください。

(内 容) 英語で書いてください。子どもたちの英語力が高度ではないため、文章は少なめで簡単な内容にとどめ、絵やシールなどが多いほうが喜ばれます。

(形 式) 既成の絵はがき、二つ折りカードのサイズでお願いします。

1通ごと封筒に入れてください。

(期 限) ICAN事務局に、7月15日必着で送って下さい。

(宛 先) 〒450-0003名古屋市中村区名駅南1-20-11NPOプラザ2F ICAN

(その他) 一通につき40円(切手可)ほどのカンパをお願い致します。



ご協力者のご紹介 ありがとうございます！ (2003年6～9月)

<文房具> ミンダナオの子ども達への贈り物にしました！

逢坂平郵便局の皆さん、小島小学校の皆さん、山下さん

【集まったカンパ】 6,200 円

<未使用テレカ> ミンダナオの給食に活用します。

松田さん、深谷さん、永井さん、小浜ライオンズクラブの皆さん

【集まったカンパ】 89,100 円 相当

<その他> 平和を学び考え願う青年仏教者の集い(平仏集)の皆さんより、12,000円、三陽高校の皆さんより、33,389円のカンパをいただきました。

(特)イ-パーツより三台のパソコンのご寄付をいただきました。

ありがとうございます！

<< 会員になってICANの活動を支えよう! >>

(ICANの活動は会費と寄付金で支えられています。事業会費 事業寄付金は20%が運営費、80%が事業費となります。正会費、運営寄付金は全て運営費となります。)

< ご支持頂けるものを選んで御参加下さい。 > (1~4は事業会費、5は正会費です)

(1) 貧困家庭のための里親制度(年会費1万8千円)

一定収入に満たない家庭の子どもに学費・学用品費・医療費等を支援します。1対1の支援です。

(2) ミンダナオの小学校での給食提供(年会費6千円)

少数民族の小学校で、先生や保護者の方と一緒に、栄養不良児に給食を提供しています。

(3) パヤタス支援(年会費6千円)

ごみ拾いで生計を立てている住民が多くすむパヤタスで、職業訓練や医療支援を行っています。

(4) 山村教育支援(年会費6千円)

山村サンシロで、先住民のために、未就学児童やハイスクール生等の教育支援を行っています。

(5) ICANの運営等の活動全般へのご支援(一般会費3千円、維持会費1万円)

活動全般を支えて頂く正会員です。翻訳や事務局を手伝って頂くボランティアも募集しています。

PICK UP コーナー：職業訓練会員

職業訓練会員は、パヤタスの女性たちに技能を身につけてもらうと同時に、女性たち自らが住民を対象に職業訓練の講師も務め、地域全体のサポートを目指します。2001年ツアーに参加後、会員としてパヤタスの女性たちを応援している会員の声をご紹介します。

パヤタスでの作業訓練は、女性達がハンディクラフトやアクセサリーを造る技術を学び、収入へと結び付けていくための支援をしています。女性達は、ひとつひとつ丁寧、真剣に取り組んでいて、年々その活動が実を結んでいます！

職業訓練会員 小寺寿臣



パヤタス職業訓練会員募集中です！

新規会員、会員継続者のご紹介(2003年6~9月)

< 新規会員 > 市川洋子さん、大川孝次さん、佐藤雅美さん、篠田祐三さん、砂本紅年さん、田辺登さん、土屋雅代さん、中島知子さん

< 会員継続 > 五百川信枝さん、石谷泰枝さん、小野寺和夫さん、川嶋健市さん、新名洋子さん、沼崎清子さん

ご支援、ありがとうございます！

ご入会のお問合せは、ICAN事務局まで(受付時間：火~土13時-17時)

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-20-11 NPOプラザなごや2F

TEL&FAX (052)582-2244 E-mail: info@ican.or.jp

ホームページ: <http://www.ican.or.jp/>

会費と寄付金の振込先

郵便振替) NPO法人ICAN, 00850-6-78233

UFJ銀行) 名古屋駅前支店 普通 2361021 NPO法人ICAN(エヌピー-オ-ハウジンアイキャン)

点字資料が必要な方はお申し付けください。